

大学・短大の障がいのある学生への 就労支援連絡会

大学・短大における障がい学生への支援の充実に向けて、より良い連携ができるよう、学生支援・就職支援担当者を対象に就労支援連絡会を開催しました。

- 実施日：1月27日（木）14：00～16：00
- 参加者：9校13名（所属：進路支援、学生相談室担当者等）

第1部 『福岡市障がい者就労支援センター事業紹介』

センターから、概要説明、学生向けの事業としてスキルアップセミナー、企業・学生・支援者交流会の紹介をしました。「事業に参加された学生が、進路の選択肢の広がりや自己理解の深まり、自発的に学校や支援者に相談する学生が増えた」という成果が上がっています。今後も就職後のサポートを含め、学校と連携して段階的な支援を行いたいと考えています。

障がいのある学生への支援

- 学生への支援
個別支援
スキルアップセミナー
企業・学生・支援者交流会
- 大学・短期大学への支援
就労支援連絡会
企業・学生・支援者交流会

第2部 『企業の障害者雇用の取り組み』

〈講話〉西部ガスホールディングス株式会社

人財戦略部 キャリア開発グループ

兼 西部ガス絆結株式会社 取締役 向井 信也 様

障がい者雇用への取り組みとして、キャリアアップを目指せる環境であるという話や、企業の立場から学校の支援者に求めることや在学中に身に付けておいてほしい力についてお話がありました。また、関連会社も多くあり障がい者雇用の拡大を目指しているとのことでした。

西部ガス特例子会社「西部ガス絆結株式会社」

障がい者雇用の推進



第3部 「意見交換会」

引き続き、講師の向井様と、西部ガス絆結株式会社社長の船越様にもご参加いただきました。学校生活と社会で必要な自己理解の違いについてや、必要な支援についての話が出ました。これらを擦り合わせるための交流の場が必要であり、早い段階で自己理解を進めるためのインターンシップの活用、学校同士の繋がりについてなど活発に意見交換がなされました。

学校の支援者は企業の立場からの意見を聞くことができ、企業は学生や大学の現状を知る、良い機会となったようでした。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑みオンライン開催に変更となりましたが、多くの方にご参加いただきました。

参加された方からは、「企業の障がい者雇用・支援の取り組みの充実さを知ることができ大変勉強になった」「障がい学生の就労支援は、大学だけで完結せず支援機関との連携が不可欠と再認識した」等の感想をいただきました。

センターとしても、企業と学校が繋がる場の必要性を改めて感じました。今後の支援や交流の場に活かして参ります。貴重なご意見ありがとうございました。 担当者一同

大学・短大の障がいのある学生への 就労支援連絡会

大学・短大における障がい学生への支援の充実に向けて、より良い連携ができるよう、学生支援・就職支援担当者を対象に就労支援連絡会を開催しました。

●実施日：2月25日（木）14時～16時15分

●参加者：6校7名（所属：進路支援、学生相談室担当者等）

第1部 『企業の取組みと支援機関の連携』

〈講話〉ベルテクネ株式会社

発達障がいのある方を採用する上での取り組みや支援者に求めることなどご講話いただきました。成長意欲を持って仕事が継続できるよう、チェックシートの導入や興味、関心のある業務を担当してもらうなど、社内での育成や環境づくりについて教えていただきました。また、就労中のご本人からは、学生時代の就職活動で苦労したことやその時の心情、現在は資格取得に向けて努力していることや、ミスに対して深く落ち込まないよう意識していることを話していただきました。「仕事が楽しい、この会社で成長していきたい」という言葉がとても印象的でした。

センターからは就職に繋がるまでの大学や支援機関との関わりについて報告しました。

第2部 「意見交換会」



支援に繋げるために支援プログラムの周知方法や学生へのアプローチのタイミングなど、学内で工夫していることについて情報交換を行いました。

また、支援を行う上で支援者同士のネットワークや学内でのシステムづくりが必要との話もあがりました。終始話題が途切れず、私たちセンター職員にとっても大変参考になりました。

参加いただいた方からは、企業やご本人からの率直な話が聞けて良かった、他大学の取組みや情報を得ることで刺激を受けた、などの感想をいただきました。センターに対しても学生や支援者のニーズに応じた取り組みをと、多様な要望やご意見をいただきました。今後の活動に活かして参ります。参加された皆様ありがとうございました。

担当者一同

大学・短大の学生支援・就職支援担当者を対象とした

障がい者支援セミナー 事業報告

在学中からの連携を目的として、大学・短大の学生支援・就職支援担当者を対象とした「障がい者支援セミナー」を開催しました。

実施日：1月16日（木）14時～16時30分

参加者：11大学12名(所属：学生相談室、就職キャリア支援室、大学教授等)

〈講話〉

『株式会社 NTT 西日本ルセント』

障がい者雇用をする上での取り組みについて、本人の能力に合わせた業務分担や、障がい名は気にせず、本人の出来る事や頑張る姿を重視したステップアップ制度等の仕組みを教えてくださいました。「出来ない事より出来る事に目を向け伸ばすことが就職に繋がる」とご講話いただきました。

『九州大学 キャンパスライフ・健康支援センター』

学生の1次相談の窓口として総合相談支援部門を作り、適切な支援に繋げるため障がいのある学生の相談に応じて対応窓口を明確にすることや、1～2年生の早い段階から企業でのインターンシップを計画する等、学内・学外の連携及び学生への支援についてご講話頂きました。

〈就労支援センターの取り組み紹介〉

障がいのある学生への就労支援について2つの事例を紹介しました。

〈意見交換会〉

各大学での障がいのある学生に対する就職支援や学内での連携について情報交換を行いました。学内での組織作りの方法や各部署との役割分担、連携の仕方、インターンシップ先の提供の難しさ等の話題があがりました。現在すでに取り組まれている大学や講師の方から、他機関と連携した支援プログラムや組織作りの事例等の紹介もあり、様々なヒントを各自持ち帰られたようでした。



今回のセミナーでは、大学、企業、就労支援それぞれから障がいのある学生に対する取り組みについて話題を提供し、意見交換会を行いました。

他大学の取り組みを聞き、障がいのある学生支援の組織作りを頑張らなければならないと熱意を新たにされた意見や、企業から採用のポイントや求める人材について聞く事ができ、今後の支援に活かしていきたいとの感想を頂きました。限られた時間でしたが有意義な時間となりました。参加いただいた皆様、ありがとうございました。

担当者一同